農業市場学研究室案内2020年後期

2020/10/15

1 教員の講義担当

	氏名	講義名	対象学年
教授	野見山敏雄	生物生産学原論（分担）	1年（後期）
		食料・環境問題（分担）	1年（前期）
		農業市場学（分担）	3年（前期）
		現代農業論（分担）	3年（後期）
		食料環境経済学Ⅲ（分担）	修士1年（前期）
助教	観山恵理子	農業経営経済学総合演習（分担）	3年（前期）
		農村社会学調査実習（分担）	3年（後期）
		食料システム経済学（分担）	2年（後期）
		現代農業論（分担）	3年（後期）
		食料環境経済学Ⅲ（分担）	修士1年（前期）

2 教員および院生・学生の研究テーマ

教授	野見山敏雄	1,産地の市場対応と産地形成 2,産直流通の展開課題
助教	観山恵理子	1,青果物の流通における価格形成 2,災害と地域農業の復興
博士課程	佐藤 忠恭	ローカル・フードシステムと都市農地保全に関する研究
	松島 耕太	農福連携における障害者の生活状況に関する研究
修士課程 2年生	豊倉 幹人	青果物卸売数量と価格に関する研究
	西原 実穂	中小規模の地方卸売市場の存在意義
	吉田 正恵	地方銀行の地域農業振興における役割
	藺 愛明	コーヒーのフェアトレードに関する研究
1年生	岩月 龍平	生協利用者の倫理的商品への理解と購買行動に関する研究
	川﨑 心	農業や農村に関心のある若者の意識に関する研究
	齋藤 啓夢	貨客混載便の利用が農業経営に与える効果
	関口 翠	公設地方卸売市場の運営における経営戦略の実効性
4年生	栗林 甫	産直における価格形成に関する研究
	三ノ宮美月	産業間連携による地域活性化
	藤本 空	ペットフードの流通
	宮木 怜磨	スマート農業の費用対効果
3年生	岩崎 聡史	企業の農業参入，フェアトレード，行動経済学
	木村 美月	グリーンツーリズム
	外里 亮太	6次産業化，農産物のブランド化
	山下 暁弘	食品ロスとフードバンク，農福連携，農産物のテーマパーク

3 学部卒業生および大学院修了生の進路　（末尾の数字は卒業・修了年度）

学部卒業生	大学院修士課程修了生
・本学大学院農学府-20×2,19×3,17,16,15･･	・JA全農本所-20
・ヤンマーホールディング(株)-20	・千葉県庁-20
・日清フーズ(株)-20	・(株)東新システム-20
・(株)キューソー流通システム-18	・住商フーズ(株)-19
・東京大学大学院農学生命科学研究科-17	・本学大学院連合農学研究科-18,14,09,03,･･
・(株) ＮＴＴコムウエア-17	・(株)日立物流-18
・(独)勤労者退職金共済機構-16	・(株)ＤＹＭ-18
・日本コントロールシステム(株)-16	・Ｊ Ａ全農三重県本部-17
・(株)やまびこ-15	・(株) ロピア-17
・住商フーズ(株)-15	・(株)セブン-イレブン・ジャパン
・草津ナウリゾートホテル-15	・東京都庁(行政)-16
・経済産業省-14	・日本甜菜製糖(株)-16
・三井化学アグロ(株)-14	・ヱスビー食品(株)-15
・日本貿易振興機構（JETRO）-12	・アリアケジャパン(株)-15
・農林水産省-09	・(株)イーサポートリンク-15

4 最近の卒論及び修論のテーマ（・=卒論，◇=修論）

・余剰食品削減アプリから見る余剰食品流通における提供企業のリスクとその軽減方法の分析-19
・農産物流通に関する考察―半商品概念とS-Dロジックを用いて―-19
・都市地域における卸売市場の今後の存立条件―湘南藤沢地方卸売市場を事例として―-19
・ﾈｯﾄﾜｰｸ型ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾝｸにおける運営の効率化―NPOﾌｰﾄﾞﾊﾞﾝｸ岡山を事例として―-18
・農産物直売所の課題と展望に関する研究－地産地消・地場流通の展開過程の観点から－-17
・狭山茶のブランド・マネジメントの課題とその克服に向けた考察-16
・新規用途米粉をめぐる現状と普及の意義-16
・20世紀から21世紀初頭における清酒製造業者の企業構造の変化に関する研究-16
・都市近郊農村における移住・定住推進策の検討－千葉県いすみ市を事例に－-15
◇青果物輸出における類型分析とその課題－りんごといちごを中心に－-19
◇病院給食における地産地消の現状と課題-19
◇中山間地域における内発的発展の再検討-18
◇清酒輸出の展望と課題―コンソーシアム形成による輸出を事例に―-18
◇生協産直におけるｲﾝﾀｰﾈｯﾄ導入による需給調整ならびに消費者ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの変化-18
◇国産米における価格帯別需給不均衡に関する一考察-17
◇有機農産物の第三者認証制度の日中比較-17
◇中国におけるCSAの展開過程－北京と成都の事例を中心として－-17